

参入検討事業者向け

鹿島臨海特定公共下水道深芝処理場再構築事業 PPP/PFI 導入可能性調査に係る企業説明会

実施要領

令和8年10月

茨城県

【目次】

1	説明会の目的	1
2	説明会等の概要	2
2.1	スケジュール	2
2.2	説明会	3
2.2.1	説明会対象者	3
2.2.2	説明会（第1回）参加申込み	3
2.2.3	説明会会場	3
2.2.4	説明会内容	4
2.3	本調査における留意事項	4
3	問合せ先	4
4	参考資料	5
4.1	令和6年度再構築計画最適化検討業務の概要	5
4.1.1	基本的事項	5
4.1.2	再構築事業条件設定	5
4.1.3	想定改築手順	7

1 説明会の目的

鹿島臨海特定公共下水道 深芝処理場は、昭和 45 年度に高松地区を除く鹿島臨海工業地域から排出される産業排水と神栖市から排出される生活排水を処理するために供用開始しました。

平成 29 年からは長寿命化計画に基づく改築更新事業に着手していますが、土木躯体の標準耐用年数（50 年）を経過しており、処理施設全体で老朽化が著しく進行し、耐震・耐津波性能も有していないことから処理場再構築が必要な時期となっています。

このような中で深芝処理場では令和元年以降、再構築計画の検討に着手し、「令和 7 年度 PPP/PFI 導入調査業務」では、本処理場の課題整理、関係者ヒアリング、マーケットサウンディング調査、最適スキームの抽出、を検討しました。

本説明会は、深芝処理場再構築に係る官民連携事業に対して、事業者皆様の参入意向や、再構築に当たっての課題に対するご意見等を頂き、官民連携手法導入の検討に活用することを目的としています。

2 説明会等の概要

2.1 スケジュール

今年度は「説明会」3回と「概算事業費アンケート調査」を下表に示すスケジュールで予定しています。説明会では企業様からのご意見やアドバイスを受け官民対話を通じた事業条件の精度向上を図ります。

項目		内容	日程等	説明内容
説明会	第1回 対面 or Web	参加申込み期間	令和8年9月16日（水） ～令和8年10月5日（月） <u>17:00</u>	① 鹿島臨海特定公共下水道事業の概要 ② 鹿島臨海特定における下水道事業の課題 ③ R7年度MS調査結果 ④ PPP/PFI導入検討方針案 ⑤ リスク分担について ⑥ 今後のスケジュール（案） ※説明会終了後、参加者間による名刺交換会を予定しております。
		開催日	令和8年10月8日（木） 14:00～15:30 （受付開始 13:30）	
	第2回 Web	開催日	令和9年1月中旬	① 概略施設設計の説明 ② リスク分担（第1回説明会から企業からの意見を 受けて修正）
	第3回 Web	開催日	令和9年3月中旬	① PSC説明 ② 概算事業費依頼（2か月程度）
アンケート調査	Excel配布予定	アンケート調査回答期間	令和9年4月上旬 ～令和9年5月31日（月） <u>17:00</u>	概算事業費に関するアンケート

※日程等は変更となる可能性があります。

グレー：未定

※原則、第1回説明会参加企業を第2回以降参加対象とします。

2.2 説明会

2.2.1 説明会対象者

説明会への参加対象とする事業者等は、深芝処理場再構築事業に関心のある事業者(法人)または団体(法人グループ)とします。

ただし、次のいずれかに該当する者を除きます。

- (1) 地方自治法施行令(昭和22年政令第16号)第167条の4の規定に該当する者
- (2) 会社更生法(平成14年法律第154号)に基づき更生手続開始の申立てがなされている者又は民事再生法(平成11年法律第225号)に基づき再生手続開始の申立てがなされている者(会社更生法にあっては更生手続開始の決定、民事再生法にあっては再生手続開始の決定を受けている者を除く。)
- (3) 県税又は消費税及び地方消費税を滞納している者

2.2.2 説明会(第1回)参加申込み

説明会への参加を希望される事業者等の皆様は、次の申込フォームまたはQRコードにより必要事項(事業者または団体名、ご担当者、ご連絡先等)をご入力の上、参加申込みをお願いします。

★申込みフォーム(URL): <https://forms.cloud.microsoft/r/UVk9GW4k0V>

★申込みQRコード:



※参加申込み期限: 令和8年10月5日(月) 17:00

2.2.3 説明会会場

説明会会場は次のとおりです。

会 場: 鹿島下水道事務所 深芝処理場

住 所: 〒314-0101 茨城県神栖市北浜9

※会場の収容人数の都合上、最大2名までの参加をお願いします。

2.2.4 説明会内容

- ①鹿島臨海特定公共下水道事業の概要
- ②鹿島臨海特定における下水道事業の課題
- ③R7 年度 MS 調査結果
- ④PPP/PFI 導入検討方針案
- ⑤リスク分担について
- ⑥今後のスケジュール（案）

2.3 本調査における留意事項

- 本説明会及びアンケート調査は事業者の皆様の深芝処理場再構築事業に対する参入意向や事業範囲（案）に関するご意見等の把握を目的として実施するもので、今後の深芝処理場再構築事業における官民連携手法の導入を含め、いかなる発注、計画策定等が行われることを保証するものではありません。
- 本説明会及びアンケート調査への参加実績が、今後の事業者公募等の参加条件及び評価の対象となることはありません。
- 必要に応じて、個別ヒアリング等の実施も想定していますので、その場合は可能な限りご協力をお願いします。
- 本説明会及びアンケート調査への参加及び書類作成等に要する費用は、参加事業者の負担となります。

3 問合せ先

本調査に関する問合せ先は次のとおりです。

担当部署：茨城県鹿島下水道事務所 施設管理課

住 所：〒314-0101 茨城県神栖市北浜9

担 当 者：生沼

電話番号：0299-96-2617

F A X：0299-96-1099

E - m a i l：kage@pref.ibaraki.lg.jp

4 参考資料

4.1 令和6年度再構築計画最適化検討業務の概要

4.1.1 基本的事項

- ・処理能力：165,000m³/日
- ・処理方式：標準活性汚泥法
- ・処理施設：【水処理施設（再構築対象施設）】
 - A系水処理施設（25,000m³/日×5系列＝125,000m³/日【S44供用開始】
 - B系水処理施設（20,000m³/日×2系列＝40,000m³/日【H10供用開始】

【汚泥処理施設（再構築対象外）】

（汚泥濃縮施設）

- ・汚泥濃縮・貯留槽×4槽（3槽運用停止中）
- ・機械濃縮機（60m³/時・台） ×2台

（汚泥脱水施設）

- ・ベルトプレス脱水機（ろ布巾3m/台） ×4台

（汚泥焼却施設）

- ・流動床式汚泥焼却炉（60t/日・基） ×2基

4.1.2 再構築事業条件設定

（概要）

- ・水処理施設（165,000m³/日）【再構築対象 図4.1参照】
- ・スクラップアンドビルドによる現有地内での全面改築（土木・建築躯体・機械・電気）
- ・全ての施工段階において、処理能力165,000m³/日を確保する。

（水処理方式及び水処理施設内容）

- ・標準活性汚泥法（初沈・終沈2階層、深層式反応槽による省スペース化）

※将来的な処理機能増設（全体計画330,000m³/日）のための拡張性（増設スペース・施工スペース等）を考慮する。

- ・曝気油脂分離槽・pH調整槽廃止による余剰スペースを活用する。

4.1.3 想定改築手順（令和6年度再構築計画最適化検討より）

令和8年度 概略(基本)設計業務により設計中であり、工法・手順は決定しているものではないことに留意。

Step1（既設処理能力 165,000m³/日再構築）

Step1-1

- ① 沈砂池・ポンプ棟・塩素混和池改築後、既設沈砂池・ポンプ棟・消毒槽撤去（揚水・消毒機能の優先的確保）
- ② 曝気油脂分離槽・pH調整槽撤去〔スペース【1】〕
- ③ 〔スペース【1】〕にA系最初沈殿池2階層（125,000m³/日）再構築
- ④ 既設A系最初沈殿池撤去〔スペース【2】〕
- ⑤ 〔スペース【2】〕にA系深層式反応槽（125,000m³/日）再構築
- ⑥ 既設A系反応槽撤去〔スペース【3】〕
- ⑦ 〔スペース【3】〕にA系最終沈殿池2階層（125,000m³/日）再構築

※各施工段階①～④において既設施設→新設施設への導水配管の切替えが発生する。

Step1-2

- ⑧ 再構築A系増設（125,000m³/日＋40,000m³/日→165,000m³/日）
- ⑨ 既設B系水処理施設撤去〔スペース④〕

Step2（新設水処理施設 165,000m³/日→330,000m³/日増設）

- ⑩ 〔スペース【4】〕B系水処理施設増設（165,000m³/日）

Step2 完了時：A系 165,000m³/日＋B系 165,000m³/日 ＝ 330,000m³/日（全体計画）

※本業務における導入調査検討範囲は Step1（Step1-1 及び Step1-2）までとする。

